

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	プロダクトデザイン実習 3 B	
科目基礎情報							
開設学科	プロダクトデザイン科		コース名			開設期	前期
対象年次	2年次		科目区分		必修	時間数	60時間
単位数	2単位		授業形態		実習		
教科書/教材							
担当教員情報							
担当教員	齋藤善子				実務経験の有無・職種	有・プロダクトデザイナー	
学習目的							
素材の面からプロダクトデザインの可能性を探る。主に有機系素材としての樹脂と皮革を中心として学習。素材の成り立ちや活用事例などを調査・分析し、課題の中で生かしながらデザイン作品としてまとめ上げていく。							
到達目標							
皮革の特徴・特性・種類を理解し、TLF革のデザインコンテストにて入賞を目標にする。 アクリルを中心とした樹脂の特徴・特性・種類を理解し、後期企業連携課題等で応用できる知識・経験を身に付ける。							
教育方法等							
授業概要		素材の特性から考えるプロダクトデザインとしてアプローチする。モノ、コトの成り立ちを知るとともに、経済的側面、生産的側面を考慮しながら課題を進める。各種要求項目、および設計条件を割り出し、それに則ったイメージづくりからアイディア展開、モデル化、の流れを経験し、スケッチワークやモデリングワークにおける造形表現手法を学習する。					
注意点		工具・機具を使用した模型製作時怪我をしないよう注意して進める。 スケジュールに則り、プレゼンテーションに遅れの出ないように学生自身がマネジメントして進める。 制作内容により作業着、作業用具、各種材料が必要になる。 やむを得ず欠席した場合、すぐに担当教員が補助員に相談し授業の流れに遅れないよう注意すること。					
評価方法	種別	割合	備 考				
	課題技術	40%	課題の表現技術を総合的に評価する				
	課題内容	40%	課題のコンセプト・アイディア・デザインを総合的に評価する				
	プレゼンテーション	10%	課題の発表技術、内容について評価する				
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容		各回の到達目標				
1回	オリエン 課題説明		休み中に出された課題を検討し、更に改善を加えた案をデザインできるようになる				
2回	素材研究1		皮革についての種類・特性や使用用途を調査し、自分のデザインに活用できるようになる				
3回	素材研究2		グループで皮革の使い方や可能性をディスカッションし、新しい素材としての使用法を検討できるようになる				
4回	デザイン検討、デザイン玉成1		合成皮革・紙等を利用し、複数のデザイン検討できる				
5回	デザイン検討、デザイン玉成2		前回の検討を基に完成度の高いデザインに改善提案出来る				
6回	デザイン検討、デザイン玉成3		前回の検討を基に完成度の高いデザインに改善提案出来る				
7回	デザイン完成		最終提案のための見栄えの良いプロトタイプが制作できるようになる 簡単なボードにまとめる事が出来る				
8回	プレゼンテーション 講評会		7回で制作した模型、ボードを用いて第三者が理解しやすいプレゼンテーションが出来				
9回	素材研究3		樹脂についての種類・特性や使用用途を調査し、自分のデザインに活用できるようになる				
10回	素材研究4		グループで樹脂の使い方や可能性をディスカッションし、新しい素材としての使用法を検討できるようになる				
11回	素材研究5		アクリル端材を使用してアクリル成形の方法を理解し活用できるようになる				
12回	アクリルデザイン#1		アクリルの特性を考えたデザインアイディアが出せる				
13回	アクリルデザイン#2		検証したアイディアを基にデザイン玉成できる				
14回	アクリルデザイン#3		最終提案モデルを完成度の高いレベルで仕上げる事が出来る				
15回	プレゼンテーション・講評		作品をプレゼンテーション。データに基づいた具体的・効果的なプレゼンテーションが出来るようになる				